

# 速報 京都府が授業料補助拡充へ

京都府知事が1日の会見で府の授業料補助拡充の方針を表明しました。

年収590万円～910万円未満世帯への補助上乗せを検討するとのこと。会見で知事は年収590万円を「崖」と表現しました。また、府外の私立校に通う生徒への補助(現在は兵庫県のみ対象)も検討します。京都からは大阪に約800人、奈良に約600人、滋賀に約400人が通っているそうなので、これも実現すると対象が約2000人になります。

京都すすめる会では12月26日に署名提出・要請行動を計画しています。

## 府、授業料補助拡充へ

### 私立高 越境通学者対象拡大も

京都府の西脇隆俊知事は1日の定例記者会見で、私立高に通う生徒を対象に府が独自に行っている授業料補助制度を拡充する方針を明らかにした。補助額の引き上げや、現在は兵庫県に限っている越境通学者の対象拡大を軸に検討し、早ければ来年度予算案に盛り込む。

府の「あんしん修学支援制度」は国制度に府が独自に上乗せして授業料を補助している。年間補助額(上限は国の分を全額含む)は、生活保護世帯が98万円、世帯年収590万円未満の世帯が65万円、年収590万円～910万円未満の世帯が19万8800円。年収910万円以上の世帯に対する補助はない(年収はいずれも目安)。

## 別に1千億円 鉄道・道路の整備 広島、費用増大

もう一つの見直しの方向性として示したが、府県境を超えて通学する生徒への対象拡大。現在、府外の

私立高に通う生徒は兵庫県を除き、補助の対象外になっている。府などによりますと、本年度に京都府内から兵庫県内の私立に通う生徒は約100人いるが、大阪府内の私立高へは約800人、奈良県の私立高へは約600人、滋賀県の私立高へは約400人の生徒が通っている、という。

市は鉄道のトンネルを構造物部分の整備に当初250億円を見込んでいたが、軟弱地盤の対策や地中メタンガスへの対応が必要となり346億円に増額。このうち国費の88億円を確保した258億円を市が負担する。また夢洲駅前の護国橋に30億円が発生。夢洲整備に30億円が追加。へつながる高速道路の整備は工法変更で完成が遅れる。一方、国は会場整備



紙面

**院内集会:12月8日(金)11:00から 衆議院第一議員会館・大会議室**

東京、京都で制度拡充の動きが生まれています。国の制度拡充を訴える絶好の機会となります。当日ぎりぎりまでの署名集約、参加組織をよろしくお願いします。